

「JENESYS2.0」

2016 年度中国高校生訪日団第 3 陣 B コース

訪問日程 平成 28 年 11 月 8 日（火）～11 月 16 日（水）

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した 2016 年度中国高校生訪日団第 3 陣 B コース計 123 名が、11 月 8 日から 11 月 16 日までの 8 泊 9 日の日程で来日しました。（副団長＝馬継雲（マー・ジーユン） 北京大学附属中学 ダルトンアカデミー 副院長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は 4 分団に分かれ、東京をはじめ、大分県、富山県、兵庫県、愛知県、千葉県、及び茨城県を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、学校訪問・交流やホームビジット・ホームステイ等を通じて、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

11 月 8 日（火）

第 1 分団：成田空港より入国

第 2・3・4 分団：羽田空港より入国，明治神宮見学
オリエンテーション

11 月 9 日（水）

セミナー「日本の科学技術」

法政大学訪問

歓迎会

11 月 10 日（木）

第 1 分団：大分県へ移動，別府の地獄めぐり見学

第 2 分団：TEPIA 先端技術館視察（アテンドツアー），富山県へ移動

第 3・4 分団：愛知県へ移動，中部国際空港セントレア視察

11 月 11 日（金）

第 1 分団：学校交流（大分県立別府翔青高等学校）

第 2 分団：学校交流（富山県立伏木高等学校）

第 3 分団：白鳥公園見学，学校交流（愛知県立安城東高等学校）

第 4 分団：ノリタケの森見学，学校交流（愛知県立三好高等学校・バレーボール交流）

11月12日（土）

第1分団：西寒多神社見学，体験プログラム（民泊・大分県豊後高田市）

第2分団：豆腐作り体験，体験プログラム（民泊・富山県朝日町）

第3・4分団：名古屋城見学，ネックス・プラザ見学，リニア・鉄道館視察

11月13日（日）

第1分団：体験プログラム（民泊・大分県豊後高田市），

東京へ移動，日本科学未来館視察

第2分団：体験プログラム（民泊・富山県朝日町），東京へ移動，江戸東京博物館見学

第3分団：兵庫県へ移動，体験プログラム（びゅんびゅんゴマ製作体験），

有馬温泉街見学

第4分団：東京へ移動，江戸東京博物館見学

11月14日（月）

第1分団：学校交流（東京都立若葉総合高等学校）

第2分団：学校交流（千葉県立松戸国際高等学校）

第3分団：学校交流（神戸学院大学附属高等学校）

第4分団：学校交流（茨城県立藤代高等学校）

11月15日（火）

第1・2分団：杉並アニメーションミュージアム見学

第3分団：東京へ移動

第4分団：体験プログラム（江戸風鈴製作体験）

商業施設視察

歓送報告会

11月16日（水）

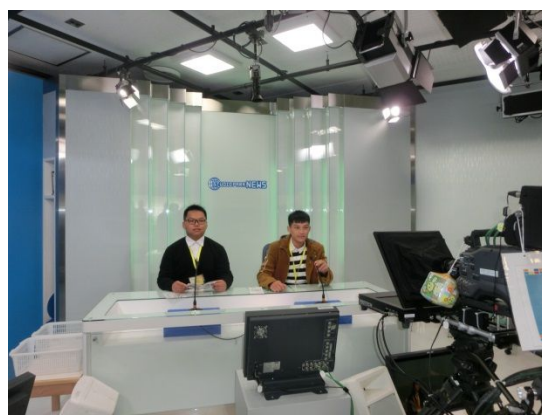
第1分団：お台場見学，羽田空港より出国

第2・3・4分団：羽田空港より出国

3 写真



11月8日 明治神宮見学（東京都）



11月8日 NHK スタジオパーク見学(東京都)



11月9日 「日本の科学技術」八名和夫法政大学理工学部教授によるセミナー(東京都)



11月9日 法政大学訪問（東京都）



11月9日 歓迎会 中国の高校生（東京都）



11月9日 歓迎会 中国高校生のパフォーマンス（東京都）



11月10日 別府の地獄めぐり見学（大分県）



11月10日 TEPIA 先端技術館視察（東京都）



11月10日 中部国際空港セントレア視察（愛知県）



11月11日 白鳥公園見学（愛知県）



11月11日 大分県立別府翔青高校訪問・交流（大分県）



11月11日 富山県立伏木高校訪問・交流（富山県）



11月11日 愛知県立安城東高校訪問・交流
(愛知県)



11月11日 愛知県立三好高校訪問・バレーボール交流 (愛知県)



11月12日 西寒多神社見学 (大分県)



11月12日 豆腐作り体験 (富山県)



11月12日 名古屋城見学 (愛知県)



11月12日 ネックス・プラザ見学 (愛知県)



11月13日 民泊体験（大分県）



11月13日 民泊体験（富山県）



11月13日 びゅんびゅんゴマ製作体験
（兵庫県）



11月13日 江戸東京博物館見学（東京都）



11月14日 東京都立若葉総合高校訪問・交流
（東京都）



11月14日 千葉県立松戸国際高校訪問・交流
（千葉県）



11月14日 神戸学院大学附属高校訪問・交流
(兵庫県)



11月14日 茨城県立藤代高校訪問・交流
(茨城県)



11月15日 杉並アニメーションミュージアム
見学 (東京都)



11月15日 江戸風鈴製作体験 (東京都)



11月15日 歓送報告会 中国高校生のパフォー
ーマンス (東京都)



11月15日 歓送報告会 ハッピーバースデー
(東京都)

4 参加者の感想（抜粋）

- 最も印象に残ったことは、日本の皆さんが私たち中国人に対して非常に親切であったことです。日本の皆さんも中国人との交流を望んでいるように思われました。機会があれば日本を訪れてほしいということ・日本の風土や人情を肌で感じ取ってもらいたいということを帰国後に周囲の人たちに伝えたいです。両国の関係はよい方向に発展すべきです。このことは皆が望んでいることです。両国の関係がますますよくなることを心から願っています。
- 多くのことが印象に残っています。ここでは、次の二つを紹介します。一つ目は、民泊体験です。ホストファミリーの一番上の子供は 7 歳であるにもかかわらず、私たちのことをもてなしたり、家事の手伝いなどもしっかりと行ったりしていて、大変お利口さんでした。二つ目は、学校交流の時間に美術作品を制作していた時のことです。一緒に手伝ってくれた先輩の女性が手を汚してしまいました。しかし、一切文句を言わず、ずっと私たちを指導してくださいました。帰国後、私は周りの人々の先入観や固定観念を打ち砕くように努力をしてみようと思います。彼らにはまず、（日本について）理解した上で議論してもらいたいと思っています。
- 日本の高校生たちのおもてなしぶりに最も心を打たれました。明るくて、中国・中国人に対しても好意的でした。まじめで頼りがいのある日本の高校生のことを私たちは見習うべきだと思いました。日本の高校には、多くの部活動があり、教科書では学べないことを身につけられる環境が整っています。今回の訪問を経て、日本人（少なくとも日本の青少年）が友好的であるということを伝えたいと思いました。このような活動に積極的に参加していきたいと思うと同時に、両国の末永い友情を願っています。
- 民泊体験が最も印象に残りました。以前も日本を旅行したことがありますが、現地の方のお宅に泊まったことはありませんでした。真心のこもったおもてなし・「長幼の序」といった日本人の素敵な国民性を周囲の人々に伝えていきたいと思っています。
- 二度にわたる高校訪問が最も印象に残りました。帰国後、日本人が私たちに対して親切であること・日本の街並みがきれいであること・トイレにまで先進的な技術が用いられていること・サービス業のスタッフの丁寧な接客ぶりなどを伝えていきたいです。民泊体験を紹介することで、周囲の人に日本人の日常生活を伝えたいと思います。
- 今回の交流事業を通して、日本の文化や科学技術、日本の高校生の生活などを理解しました。同時に、両国の生徒同士の交流を深めたり、お互いの国の言葉でコミュニケーションを図ったりもしました。その結果、国際的な視野が広がっただけでなく、異国情緒を味わうこともできました。日本滞在中、きれいな街並みが最も印象に残りました。行き交う人が多いにも関わらず、ゴミがしっかりと分別されていました。知らない人にも頭を下げ、「ありがとう」「こんにちは」と挨拶したり、「お先にどうぞ」と手で合図したり、温かい笑顔を向けたりすることが印象的でした。このようなこと

から、「日本という国は、本当に協調性があり、行儀も親近感も備えている国なのだろうか」と思いました。私たち中国人は、国民の品格を高めたり、清潔な生活環境を整えたり、人々には笑顔で接したりしていくといった姿勢を日本から学ぶべきです。今回の訪問は、両国の友好にとって重要な一歩であると思います。私の心の中にも美しい思い出として残るに違いありません。

- 最も印象的だったことは、日本到着後の歓迎会でのひとときです。初めて日本の学生と顔を合わせた時、言葉の壁にぶつかりながらも楽しく交流できたのです。一人の学生は、先生や同級生（名前は失念してしまいましたが……）を積極的に紹介してくれたり、連絡先を教えてくれたりしました。彼女は人当たりがよく、私たちは友達になれました。帰国後、皆にこのような友好的な雰囲気を紹介していきたいと思います。決して全ての日本人が中国人を敵視しているわけではないと伝えたいです。未だに日本人に対して不快な過去の印象を引きずっている人がいます。しかし、日本の良い点を見ることができない分、真実を伝えるべきです。両国間に緊張があってはなりません。両国の人々はお互いに理解し合うことで、共に歩んでいくべきだと思います。
- 日本の清潔さが最も印象的でした。日本到着後、様々な場所を訪れました。どこもきれいに整備された路面ばかりでした。むしろ、きれいな路上にはゴミ箱が少なく、ゴミ箱自体を目にすることがほとんどないように思いました。帰国後、日本独特のお弁当文化・中国とは違った日本のグルメ・独特な食べ物などを周囲の人たちに紹介しようと思います。また、日本の美しい風景・高くそびえる山々・生い茂った木々の紅葉・落ち着いた雰囲気の日本の田舎・現代的で賑やかな大都市などを紹介していきたいです。日本人の優しさ・かわいらしさ・実直さについても伝えていきたいと思っています。
- 今回の訪問で最も印象深かったのは、千葉県の学校訪問です。バスが校内に入ってから帰るまで、ずっと私たちのそばについてくれた一人の女子学生がいました。私たちに何か困ったことがあると、すぐに手助けしてくれました。彼女の行動から、私は『論語』の中の「朋あり遠方より来たる、また楽しからずや」という孔子の言葉を思い出しました。以前は中国人によるあたたかいおもてなしぶりは世間の知るところでした。来客の一人ひとりに対して親切で、相手が満足できるように歓待していました。しかし現在の中国では、ほとんどの人は自分の招待客に対しては愛想良く接したとしても、近所の人との関係はすっかり冷えきっています。毎日家に戻るとまず、重たい鉄の門を閉めることでようやく自分の時間を確保するほどです。確かにプライバシーは守られているかもしれませんが、無味乾燥な生活であり、つまらないものとなってしまいました。——お互いの交流が途絶えてしまったので当然とも言えますが……。今回、私は友好を目的に訪問しました。友好的で、心のこもったおもてなしで私を迎え入れてくれました。そのような本当に素敵な日本のことを周囲の友人・同級生たちに紹介することで、両国の友情が末永く続くことを願っています。
- 今回の訪問で最も深く印象に残ったことが2点あります。1. 日本の科学技術の発展と科学技術製品が生活の隅々にまで普及していることです。普段の生活においても日

本の科学技術製品は思わぬところにまで普及しており、驚きと喜びを感じられずにはいられません。たとえば、①富山県の伏木高等学校の教室で使用されていた摩擦の少ない黒板消し。黒板を拭くときに発生する耳障りな音がなく、チョークの粉が空気中に舞うこともありませんでした。②冬の寒さ対策に効果抜群の暖房便座。2. 日本国民の品格の高さも私たちが学ぶべきところだと思います。時間を守り、ルールを守る日本人の姿勢に大きな感銘を受けました。日本人は常に早めに約束の場所に到着します。今回の交流訪問では日本人の好意と熱意を深く感じました。私はこのようなことを周囲の友達にも伝えたいと思います。

- 朝日町でのホームステイが最も印象に残っています。まず、朝日町的环境は人の心を和ませる環境でした。人口は多くありませんが、各々が快適な生活を送っています。次に、町民の皆さんが私たちを温かく迎え入れてくれました。村長による歓迎の言葉や、ホームステイ先で過ごす時間も非常に楽しい気分にさせてくれました。私たちのホストファミリーである M さんとそのお母さんによる心遣いにはとても感動しました。朝日町の海は大変美しく、人々も親切でした。またぜひ訪れたいです。周りの人に一番伝えたいことは、やはり日本人のまじめさときめ細やかさです。幾度とない細かな気配りを挙げれば枚挙にいとまがなく、大変感動しました。そのうえ、皆さんの温かい笑顔と行き届いた礼節も心地よかったです。
- 今回の日本訪問では、愛知県の安城東高校への訪問が最も印象に残りました。その日の昼食では、日本人高校生の日常的な昼食であるお弁当を味わいました。品数が多く、色鮮やかで美しく、本当に盛りだくさんでした。昼食後の校内見学では、清潔で整然としているという印象を受けました。そして、部活動も豊富であると感じました。その後、日本の高校生と一緒に古典の授業を受けました。自由な雰囲気の中、先生や生徒たちとふれあい、漢文の奥深さを学びました。最も興奮したのは日本人学生との交流会です。豊富な蔵書のある図書館で語り合ったり、興味・関心について紹介し合ったりしました。連絡先も交換しました。愛知県立安城東高校の訪問は、高校生の私にとって貴重な学習の場であっただけでなく、最も印象深いひとときでもありました。帰国後、先生や同級生たちに日本の高校生の友好的で温かい人となりについて話したいと思います。日本の高校生の学習環境に倣って、授業の雰囲気を更に活発にして、お互いの友情を深めたいと思います。さらに、引き続き安城東高校の生徒たちとも連絡を取り合って、彼らに新しい中国の友達を紹介したいと思います。
- 最も印象に残ったこと：日本人の謙虚さ・向上心・誠実さ・時間厳守の姿勢です。重要なことは、私自身が日本の高校生の日常生活を体験できたことです。友達になるには、まず相手を知ることから始めなくてはなりません。そうすれば、お互いに固い友情を築けるはずです。情報：周囲の友人に日本の様々な良い点を詳細に話すつもりです。日本人の勤勉さ・実直さ・時間厳守・清潔さ・謙虚さなど、また日本の先端科学技術を同級生に紹介したいと思います。今回の日本滞在中、本当の先進国がどのようなものかがわかりました。同時に、日本の伝統や風習、各地の文化や特色も体験しました。とりわけ、きれいな街並みや時間を守る姿勢が最も印象に残りました。その他、礼儀正しさも実感し、皆に伝える前に自分自身が学ぶべきものだと思います。

私が皆に話すことで、日中両国の友好の架け橋となることができればと思っています。

- 今回の日本訪問は印象深いものとなりました。訪問中、日本独特の魅力を発見しました。まず、清潔な環境が最も印象に残りました。きれいな道路には、ゴミが落ちていたこともなく、屑ゴミが目に入ることさえもほとんどありませんでした。次に、日本の友人が時間やルールを遵守し、謙虚な姿勢で接してくれたことが挙げられます。日本人と交流する中で、時間に対する意識の高さを感じました。日本人は分単位まで予定を組み入れる上に、大体時間通りか、少し余裕を持って約束の場所へやってきます。また、日本は科学技術の発展に力を入れています。リニア鉄道館では、鉄道の開発に貢献した科学者が大変尊敬されていました。日本の公共施設の建設・維持管理も深く印象に残りました。高速道路の紹介を受けた際、日本の道路建設技術が最新のものであり、人に優しい設計であることを知りました。ドライバーや乗客、さらには道路周辺の住民たちをも考慮した設計となっています。そのうえ、公共場所には障がい者のためのトイレや道具が備え付けられています。以上が家族・友達・同級生たちに伝えたい日本訪問の体験と感想です。
- 最も印象深いのは、愛知県立安城東高校への訪問です。（日本人高校生の）授業と部活を体験しました。日本人の生徒と書道の授業を受けました。皆で楽しく会話し、ひらがな・カタカナで自分の名前を書くことも学びました。帰国後、私は日本の伝統文化と見学した先端科学技術のことを皆に紹介したいと思います。
- 多くのことが印象に深く残っていますが、日本の高校を見学したことが一番印象に残っています。日本の生徒は皆親切で、私たちと同じようにアニメや映画、ドラマ、ゲームなどが好きなようです。帰国後、私は周りのクラスメートに日本の科学技術・製品・文化・日常生活を紹介したいです。また、景色が美しい有馬温泉も印象深い訪問先でした。帰国後に有馬温泉で撮った写真を両親に見せるつもりです。
- 今回の訪問では、茨城県立藤代高校での楽しい交流と部活動が最も印象に残っています。皆さんとの交流を通じて、友好・礼儀正しさ・心遣いを感じました。高校一年の A さんが私たちの見学の案内役を買って出てくれました。彼は親切で謙虚な人柄であり、まるで私の兄のように細かなところまで面倒を見てくれました。私たちは一緒に数学や技術の授業も受けましたが、まじめに授業を受ける彼の姿に私は大変心を打たれました。部活動の時には、一緒にバスケットボール部の様子や校舎などの様々な写真を撮りました。日本人の生徒たちが皆、自分の担当する中国人生徒に対して細かく面倒を見てくれたことに大変感激しました。最後に、藤代高校の生徒の皆さんに感謝したいです。皆さんは「日本のイメージ大使」の名に恥じないでしょう。私は日本が大好きです！ 帰国後、中国の同級生・友達・家族に日本国民の優秀さ、特に礼儀正しさを例に挙げて、余すところなく紹介したいと思います。（中国の）皆さんに日本人の素晴らしさを知ってもらいたいと思います。日中友好の交流が深まり、両国が争うことなく助け合い、美しい未来を構築していくことを願っています！
- 藤代高校への交流訪問が印象に残っています。帰国後、日本の礼儀と悠久の歴史文化、風俗習慣を伝えたいです。また、日本の鉄道見学も印象的でした。帰国後、同級

生たちに日本の高度な科学技術を伝えたいです。彼らには日本の優雅な環境とおいしい食べ物も紹介したいです。

- 訪問で印象に残ったのは、日本人が日常的に礼儀を意識していることです。普段の生活でも常に礼儀正しく、そのような姿勢に非常に感心させられました。北京の日本大使館を訪れた時のことです。訪問終了後バスに乗りこんだとき、日本大使館の職員たちは天気の良い悪しに関わらず車両の横に立ち、私たちの姿が消えるまでずっと手を振って見送ってくれました。訪日後、日本人が毎朝顔見知りの人に必ず「おはよう」と挨拶をすることや、誰かの助けを受けたときは「ありがとう」と言うことを知りました。日本人は日常生活で非常に細かいことまで重視します。些細なことでも微に入り才を穿つまで追求します。これは日本が発展した理由の一つであると言えるでしょう。全体的に見て、日本は旅行する価値がある非常に素晴らしい国だと思います。帰国後、周りの人に日本で見聞したことを伝えたいと思います。
- 今回の訪問では、日本の文化に対してさらに理解を深めることができました。日本の習慣に興味を持ちました。来日後、すぐに私の興味を引いたのは、他でもなく日本の整備された街並みとゴミ分別の厳格さでした。そのことに、大変感激しました。これらは日本人の生活に対する態度の表れだと考えられます。日本の二つの高校訪問を通して、私はさらに多くの収穫を得ました。日本の生徒・先生方の熱意と好意的な態度が嬉しく感じられました。さらに、皆さんのきめ細やかな心遣いと思いやりに非常に感動しました。また、様々な部活動があり、至る所で温かく受け入れてもらえました。
- 今回の訪問中、私たちは愛知県立三好高校でバレーボールの試合をしました。皆が一生懸命プレイし、盛り上がった試合となりました。友好・熱意、そして「友好第一、勝敗は二の次」を、私たちは友好交流の原則であると考えています。日中両国の末永い友好を願っています。
- 最も印象に残ったことは、愛知県の三好高校でバレーボールの試合に参加したことです。同じチームの日本人の学生は親切で友好的で、試合の時には私たちにすべてのボールを渡してくれて、多くの練習の機会を作ってくれました。私たちがミスをしたときは、いつも励ましてくれました。最初の練習試合で、私たちはますますチームワークがうまく取れるようになり、試合の雰囲気もますます和やかになりました。帰国後、周囲の人に日本の高校生との友情や日本の高校の様々な部活動、そして、日本にあるたくさんの美しい自然や風景を紹介し、周囲の人へ日本に対する理解を促したいです。